



KCJS ニュースレター



Follow us on
Instagram

2020 年 春学期 第 18 号



Find us on
Facebook

<https://www.kcjs.jp/>

環境の授業

エリス・シューバ
(ブランダイス大学)



今学期、「環境」についての新しい授業で、日本人は地球にやさしいというイメージがあるにもかかわらず、日本には色々な環境問題があるということを知ってもらいました。ホストファミリーや同志社大学の友達に環境問題についてインタビューをして、日本人の環境に対する意見を詳しく学んだだけではなく、自分たちも自然を敬うようになってきました。その上、遠足で宝が池公園や京都御苑に野生の動物を見に行きました。環境の授業は楽しいし、先生が英語と日本語で面白く話してくださるし、たくさん学びがありました！

This semester, in our Environmental and Conservation Issues in Japan class, we learned first hand how Japanese people view nature by interviewing our friends and host families about various topics, as well as focused on our own appreciation of the nature around us. It is a fun class where we get an interesting mix of English and Japanese, get to go on field trips, and learn new things at every step!



京都市・宝が池公園へのフィールドトリップで、鹿の糞やカエルの卵を発見しました！

日本人の友達

マルコム・サマース
(ペンシルバニア大学)



KCJS にいる間にたくさんの日本人に会って、たくさんの日本人の友達を作りました。KCJS が会話の練習時間を作ってくれたから、たくさんの日本人の学生と話せました。その学生と学校や趣味のことを話しました。私は会話する時が大好きでした。会話パートナーとご飯をよく食べて、アメリカと日本の違うことを話しました。例えば、大学生活の違いを学びました。とても楽しかったです。そして、私の日本語が上手になったと思います。日本人の友達に会えてよかったです。

During KCJS, I got to meet a lot of Japanese students during the conversation practice time. Afterwards, I hung out with and ate meals with some Japanese students. We talked about the differences between America and Japan, such as the social life in college. I'm happy that I was able to meet my Japanese friends.



会話パートナーとの顔合わせ 教室が笑い声に包まれました！

CIP:京都大学 微生物研究

マヤ・タリアフェロ(ハミルトン大学)

私はCIPのために細川先生と京都大学の研究室で働いていました。以前アメリカの研究室で働いていたので、日本での研究と比べてワクワク



しました。全体的に素晴らしい経験であり、日本の研究、日本文化、日本語について学びました。

For my CIP I worked in a microbiology lab at Kyoto University under the supervision of Dr. Hosokawa. I had previous experience working in research labs in the United States, so I was really interested to see how the Japanese lab environment compared. Overall, it was an amazing experience in which I learned a lot about the research process, about the Japanese research environment, and about Japanese language and culture.



CIPとは

学生たちが、ボランティア等を通じて、日本の地域社会とつながりを持つプロジェクト。それぞれが興味を持っている活動を選んで参加する。

CIP:剣道

ザック・クライン(コロンビア大学)

日本で剣道を練習することは素晴らしいことでした！技と剣道の型の練習は同じですが、道場のエネルギーと先生の知識の深さは全く違いました。誰もがとても真剣そうで、そのエネルギーは恐ろしいほどでしたが、みなさんと同じように練習に励み、最善を尽くすと、人々はそれに気づいてくれ、有名な先生と練習する機会が現れます。運が良かったのは、伊藤先生(有名な9段)の生徒が私のことを認めてくれて、道場に誘ってくれました。武徳殿で毎週4回練習する上に、伊藤先生と毎週一回練習しました。たった数か月でしたが、道場では、大学で何年もかけて学んだことよりも多くのことを学びました。京都に戻って練習するのが待ちきれません！

It was amazing to get to practice Kendo in Japan! Although the actual techniques and forms practiced in Japan were the same as in America, the energy in

CIP:町おこし

ミラ・ゴードン(バーナード大学)



私のCIPは町おこしの活動であった。京都市近郊の田舎を活性化しようとしている二つの団体を交互に訪ねることで様々な活動に参加させていただけて、非常に良い経験になった。朝市で地域の人々と話したり、さつまいもの苗も作ったり、活動案内パンフレットの制作も手助けしたりすることなどの貴重な機会を通して町おこしについて色々学ばせて頂いた。印象に残っているのは町おこしに関わっていらっしゃる方々が親切であることや活動に対する熱意である。KCJSにおいてこのような一生に一度の経験ができたことはありがたかった。

For my CIP, I shadowed two different groups working on town revitalization in the countryside outside of Kyoto. During this time, I had the incredible opportunity to visit remote farmers' markets and speak with the attendees, try my hand at farming sweet potatoes, and help put together informational pamphlets about the groups' activities.



the Dojo and the Sensei's depth of knowledge was completely different. The energy and intensity of practices could be terrifying at times, since everyone seemed so serious, but if you tried your best to match this intensity people tended to notice and opportunities to practice with various famous Sensei would begin to arise. I was lucky enough that a student of Ito Sensei (a famous 9 Dan Sensei) took notice of me and invited me to practice at their (Ito Sensei's) Dojo. I practiced there once a week with Ito Sensei (I still practiced at the Butokuden 4 times a week). In Ito Sensei's Dojo I learned more in a few months than I had in years of practicing at college. I can't wait to return and practice in Kyoto again!



個人プロジェクト: 歌詞の翻訳

ナムディ・エゼ(ヴァサール大学)

私は日本の音楽が好きだし、翻訳に興味があるし、個人プロジェクトとして今学期日本語の歌を英語に翻訳しています。翻訳の目標は他の言語で原文の意味を伝えることだけではなく、自然な言葉で曲の雰囲気やトーンを伝える必要性もあります。つまり、歌詞の含意や曲調を伝えなければなりません。それを達成するためには、直訳では十分ではなく、推測したり、臨機応変に自分で解釈しなければなりません。そして、最後に曲のリズムとメロディーに応じて翻訳を整えることも重要です。私は音楽理論の知識が少ないのでこれが一番難しい点です。

この個人プロジェクトを通して、私が好きな曲をもっと深く楽しんだり、クラスメートと先生に共有したり、日本語と日本文化について学んだりできるので、すごく素晴らしいと思います。

This semester, I decided to translate some of my favorite songs from Japanese to English as my individual project for Japanese class. Not only was this a useful exercise in order to learn and practice more vocabulary and grammar, but I could also deepen my understanding of these songs and how they fit into Japanese culture. It was a fun-filled experience that I was able to share with my classmates as well as my teacher.

KCJS 春旅行: 宮島・広島

クリスティーナ・アン(コーネル大学)

初日の宮島では、観光したり、紅葉饅頭を食べたり、弥山という山を登ったり、旅館で浴衣を着たりして楽しかったですが、一番記憶に残ったことは弥山です。すごく大変でしたけど、本当にいい景色が見られるので、ぜひ登ってみてください。次の日は広島！実は私も他の学生も広島にはあまり行きたくなかったんです。悲しくならないはずがないからです。でも、平和記念資料館に行ったら、何とも言えない悲しさは感じたけど、原爆の恐ろしさと被害者の気持ちがよく伝わってきました。それに、周りを歩いたら、広島は恐ろしい事件があったのにきれいで明るい街だと思いました。おいしい広島お好み焼きも食べることができて嬉しかったです。二日間はとても楽しかった上、たくさんの美味しい物があったから、もう一度行ってみたいと思います！



個人研究: 墓地の研究

クリスティーナ・アモン(スタンフォード大学)

私はライオンズ先生のご指導で京都の墓地に関する研究をしています。通常、墓地というのはお寺のもので、本願寺派国際センター、龍谷大学、報恩寺というような京都の様々な場所のお坊さんにインタビューをしに行く機会がありました。このインタビューと日本語で書かれた文章を通して、関心のあるテーマを研究したり、卒業論文に役に立つことをしたり、日本語の練習もしたりすることができて本当に感謝しています。

This semester, I'm working on an independent study about Kyoto's cemeteries under Professor Lyons' insightful guidance. Because cemeteries regularly belong to temples, I've had the opportunity to interview Buddhist priests at several different sites around the city, such as Honganji International Center, Ryukoku University, and Hōonji. Through these interviews as well as supplemental readings in Japanese, I have been able to apply my language ability to research that interests me and will eventually help me with my senior thesis.



For two days, I was able to go to Hiroshima and Miyajima with everyone in KCJS! On the first day, we went around Miyajima and had fun going around the Itsukushima Shrine, climbing Mt. Misen, eating lots of super delicious Momiji manju, and wearing yukata at the ryokan for the first time! The second day, we got to explore Hiroshima, and although the museum had a big effect on me (and probably lots of others too), I was amazed at how despite experiencing a terrible moment in history, Hiroshima was still able to become a beautiful and cheerful city that I definitely want to visit again.

宮島・広島旅行のビデオができました。ぜひご覧ください！
<http://j.mp/39k73eY>



ホームステイの経験

アレクシス・メイヤ
(エモリー大学)

私のホストファミリー
はすばらしかった！二人
の姉妹と Linus という老



犬がいて、私に多くのことを教えてくれた。彼ら
との経験で最高の思い出は彼らと一緒におぼんざ
いを食べたことだ。「おぼんざい」というのは京
都から伝統的な料理のことだ。本当の関西弁が聞
けたり、面白い食べものを食べたり、美味しいお
酒も飲んで、楽しかった！他にも、パンの作り方
やジャムの作り方、そして、裁縫も教えてくれ
た。完璧じゃなくても、京都ではホームステイの
経験をお勧めする。後悔はしないだろう。



My host family consisted of two
sisters and an old dog named Linus;
and I learned so much from all of
them (well, maybe not Linus). My
favorite experience is eating *obanzai*
with them and trying specialty sake

and other dishes, which I never would have done
on my own. I even learned different recipes and
craft skills that I am still using to this day.

友禅染め体験

レオ・チャウ (ボストン大学)



KCJS では日本の色々な伝統を体験できました
が、その一つは友禅染めでした。仲間と一緒に
友禅染めを体験しました。体験の前は、友禅染
めについて何も知りませんでしたが、楽しめま
した。友禅染めの先生達に友禅染めの仕方を教
えてもらった後で、色々なステンシルの中から
一つ選んで、トートバッグの上に置いて、絵筆
で染めました。動物や植物などのステンシルが
あったから、何枚もステンシルを使って、自分
なりのパターンや絵が描けました。日本の文化
を習いながら、自分のトートバッグが作れて、
すごく楽しかったです。このような機会があっ
てよかったです。

I was able to attend a workshop on Kyo-yuzen
with my fellow classmates! I had no idea what
Kyo-Yuzen was but I was able to enjoy dyeing my
own tote bag under the instruction of a few
teachers at the workshop. It was such a great
opportunity to be able to learn more about the
traditions and customs of Japan while being able
to create something of my own.

茶道体験

リン・トリネットカモン
(ノースウェスタン大学)



2月19日に私たちは

「茶道」という日本の伝統文化を体験する機会を得
ました。まず、主客として、茶会に参加しました。
抹茶と和菓子を味わいながら、同志社大学の茶道部
員に、茶道の作法をはじめ、茶道具や茶室の床の間
のことなどを説明してもらいました。それから、自
分で挽いた抹茶でお茶を点てることも体験しまし
た。最後に、私たちは茶道部の学生達と一緒に、福
笑いとけん玉と歌ガルトで遊びました。この体験を
通して、茶道と日本の伝統的な遊びを学ぶことがで
きて、本当によかったです。

On February 19, KCJS students had a chance to meet
the Doshisha students from the tea ceremony club
and learn about Japan's traditional tea preparation.
We got to experience *sadō* as guests and enjoyed
matcha and wagashi as the members of the club
taught us about the different utensils used to make
tea along with the proper drinking etiquettes. We also
had a chance to prepare the tea ourselves using a tea
whisk and a tea bowl. In the end we got to play three
traditional Japanese games: *fukuwarai*, *kendama*, and
uta-garuta. Overall, this was a remarkable experience
and it helped us gain a greater sense of cultural
appreciation. I would love to experience it again
someday!



同志社大学の学生も2名参加してくれました！

春休みの旅行

カイリー・クイン(マウントホリヨーク大学)



春休みに私は別府を旅行しました。別府は地獄という温泉で有名です。そこでは玉子のようなおいがするからちょっとびっくりしました。ただし景色はとてもきれいでした。私は三つの地獄を見学しました。まず、海地獄では水がすごく青く、湯気がいっぱいでした。また、その湯気でゆでた卵を食べました。次に、小さくて赤い水の地獄に行きました。それから、髪がない男の人のように見える鬼石坊主地獄で足湯に入りました。地獄を見学した後、山の上の温泉に入りました。露天風呂から別府が全部見えましたが、本当に美しかったです。

During spring break I had the opportunity to visit Beppu, which is famous for seven hot springs known as the "hells" of Beppu. I visited three of these springs, starting with umi jigoku, a hell with red water and oniishi bozu jigoku. I ate an egg that had been cooked in the steam of the hot spring and enjoyed a warm foot bath while watching the steam rise and swirl through the sky.

After visiting the hells I headed over to an onsen on top of a tall mountain. From the outdoor baths I could see the city lit up at night. It was truly a beautiful night and a wonderful way to end my trip.



ランチトーク

クリスファー・アバロス
(ブラウン大学)



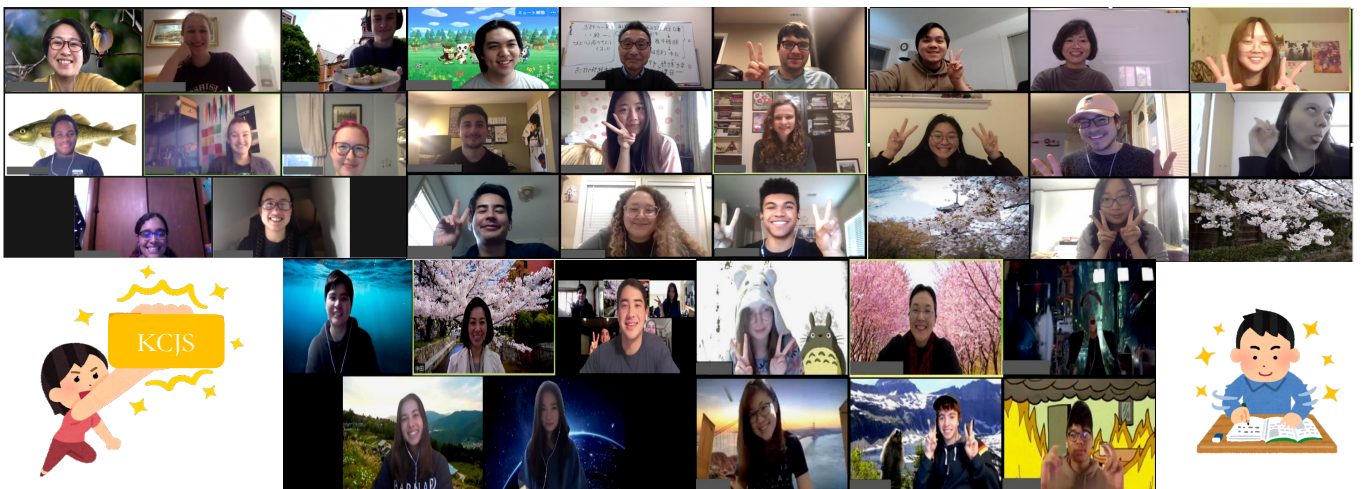
プログラムで忘れられないことの一つはランチトークでした。ランチトークで他の留学生と一緒に日本の学生と話す機会がありました。新しい友達を作っただけではなく、クラスで学んだことが練習できました。ホームステイファミリーは、お祖母さんだけです。だから、若者と話す機会がありませんでした。だから、全部のランチトークに行き、日本の学生とラインを交換しました。その上で、日本の学生の生活について聞くのがとても面白かったです。おかげで私の日本語は上達したと思います。

One of the most unforgettable parts of the program was the lunch talks. During lunch talks, I had the opportunity to talk to Japanese students with other KCJS students. Not only did I make new friends, I also practiced new things I learned in class. Because my homestay family was just a grandma, I didn't really have any opportunities to speak with other young people, so I went to every lunch talk. I learned a lot about Japanese students' lives, and my Japanese definitely improved!



オンライン授業

学期後半は、オンライン授業を行いました。皆よく頑張りました！



KCJS フォトコンテスト

受賞作品



撮影：ピーター・ギルバート
(ボストン大学)



撮影：ミラ・ゴードン
(バーナード大学)



撮影：ネイト・コイケ (ハミルトン大学)



撮影：ルーシー・シャウマン
(バーナード大学)



入賞作品



(上段左より) 撮影：ブライアン・コンウェル (ハーバード大学)、ディビッド・マサト (タフツ大学)、ジャネル・リン (ボストン大学)、エリス・シュエバ (ブランダイス大学)、ピーター・ギルバート (ボストン大学)、ミシェル・リー (ボストン大学)、レオ・チャウ (ボストン大学)、クリストフ・ケッチマック (ボストン大学)、ネイト・コイケ (ハミルトン大学)、ルーシー・シャウマン (バーナード大学)、ミラ・ゴードン (バーナード大学)、ジャネル・リン (ボストン大学)

先輩達の活躍

《進学・研究》

アンドリュー・フンさん、ケシン・ダイさん (KCJS サマー2019 コロンビア大学)

コロンビア大学大学院博士課程に進学予定

トレバー・メンダズさん (KCJS28 春学期 コロンビア大学)

ハーバード大学大学院博士課程に進学予定、日本美術史専門

ケビン・ウルシーさん (KCJS30 通年 バージニア大学) プリンストン大学大学院博士課程に進学予定

ヘザー・ハインバックさん (KCJS30 通年 コロンビア大学) プリンストン大学大学院博士課程に進学予定

《就職・仕事》

ローリー・ワンさん (KCJS28 通年 イェール大学) ロサンジェルスで膵臓がんの治療法を研究

ジュリア・セルチさん (KCJS29 通年 シカゴ大学) 東京の国際的調査研究・アドバイザー企業にて勤務

エベン・スカルディーノさん (KCJS30 通年シカゴ大学) JET プログラム CIR 合格

《日本語能力試験》

ハナ・レーセンさん (KCJS27 春学期 プリンストン大学) JLPT N1 合格

エベン・スカルディーノさん (KCJS30 通年 シカゴ大学) JLPT N1 合格

ヘザー・ハインバックさん (KCJS30 通年 コロンビア大学) JLPT N1 合格

チャンウ・イさん (KCJS サマー2019 コロンビア大学) JLPT N1 合格

